

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 4 月 9 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

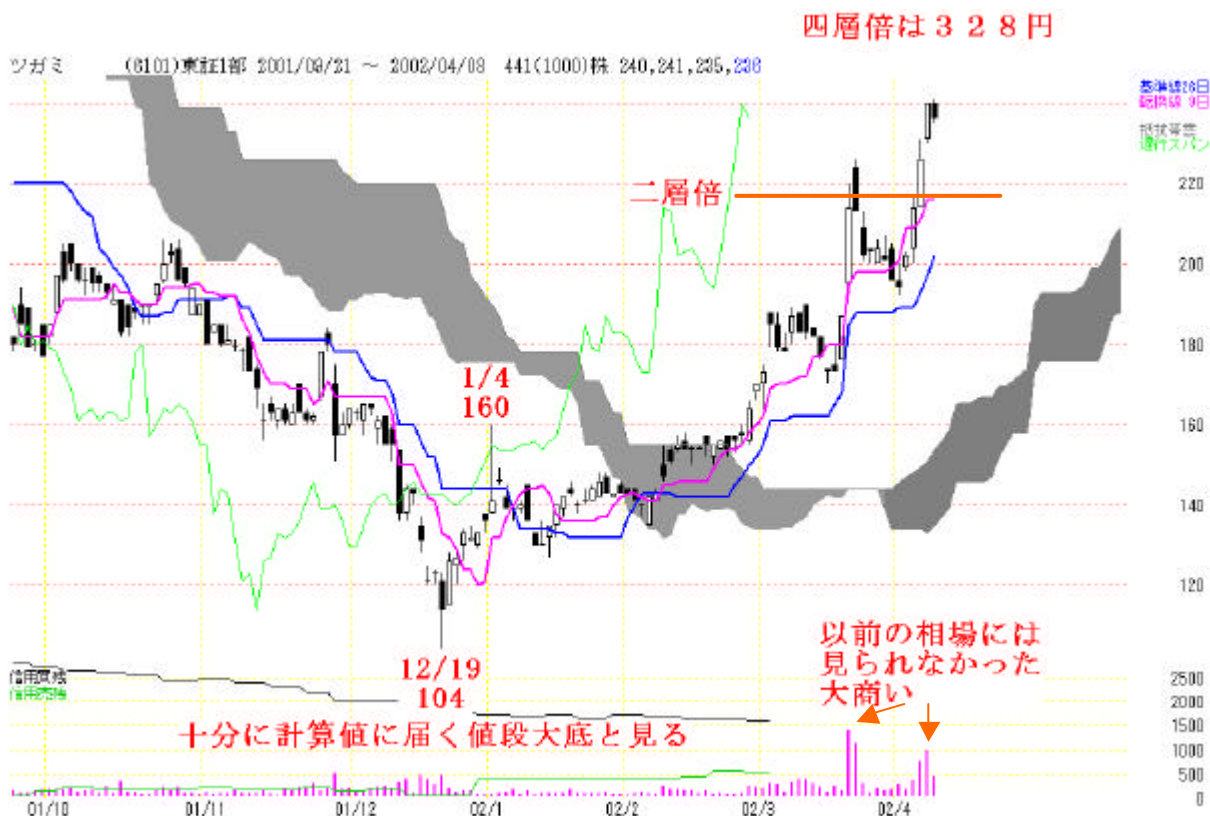
<http://www.hikarikeizai.co.jp>

前回は初動の上げ幅を一つの層と考え、その上に全く同じ層を一つずつ積み重ねることによって目標値を出すということについてご説明しました。二層倍、三層倍、四層倍と続くことになります。(4月2日号のレポート参照)

理論的には十六層倍まであり得るといわれます。しかし、私が理解するところでは、四層倍を超えたからといって五層倍とか六層倍を目標値と見るという例は聞いたことがありません。四層倍を一つの限度と見るのが妥当ではないでしょうか。それを超えるようなら、別の方法で計算値を出す方が良いでしょう。

基本はあくまでも二層倍 (E 計算値) です。そしてこれを超えるようなら出来高、それまでの株価の推移などをみて四層倍まで上がる可能性が有るか否かを判断することになります。

(無料テレフォンサービス) やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552)



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようにお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。